

# 小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



平成30年11月号  
No. 529

“チャンス” “チャレンジ” “チェンジ” “チャ…”  
Chance Challenge Change Cha…

校長 佐藤 正文



【プロなわとびプレーヤー生山ヒジキ先生】

本校の職員から聞いた、好きな言葉「3C」。  
私もこの言葉に勇気づけられてきました。

## <Chance>

先日、2年生のお店探検、6年生の職業体験がありました。商店会の皆様、関係機関のご協力により、心に残る貴重な体験学習のチャンスをいただきました。ありがとうございました。

## <Challenge>

今年度も、なわとび世界チャンピオンの生山ヒジキ先生を講師にお招きしました。披露していただいた数々の技は、見ている子供達に感動を与えてくれました。「夢」や「仕事」についての講演依頼が増えたチャレンジャー・ヒジキ先生について取り上げた学級便りの一部を紹介します。

昨年度みんなに約束した通り、世界のギネスの記録を塗り替え、さらに、新しく2つのギネスをもらい、9つのギネスを手に入れました。本当にすごいなと思いました。夢を叶える秘訣として「マイナスなことは言わない」「夢を人に公言する」「やることリストを毎日つくる」ということがあります。ヒジキさんは夢をみなさんに宣言し、そして、「できない」ではなく「できる」と信じて、毎日、練習に励んでいらっしゃいました。だからこそ、夢が現実になるのだなと思いました。先生も、ヒジキさんを見習って「できる」と信じて頑張ってみようかな。「一跳入魂」の生山ヒジキ先生から、今年もたくさん元気をお小竹小学校にいただきました。

## <Change>

10月13日(土)道徳授業地区公開講座の講師として、元明星大学発達支援研究センター研究員、元日野市立日野第三小学校長、ユニバーサルデザインの第一人者、京極澄子先生をお招きしました。「子供を伸ばすほめ方としかり方」をテーマに参加者80名ほどの方々がコミュニケーションを図りながら、お話を伺うことができました。保護者の皆様からいただいたアンケートから、感想等、いくつかご紹介します。

- ・(子供達は)答えが1つではないということと、自分とは違った意見を聞いて、いろいろと感じられたと思います。
- ・その子自身が気付いていない、思考の道筋を意識化させるような働きかけが必要だと感じました。
- ・いろいろな立場の人に対して、個々の意見を必ずしも否定せず、受け止めていくことで、相手の気持ちを考え、発言をていねいにかみくだいていくことができるメソッドについて共感しました。
- ・褒め方や叱り方を教えていただき、今の悩みが1つ無くなりました。
- ・「あいうえお」の褒め方を日常で使用して、褒める回数を増やしたいと思います。
- ・ネガティブ面だと思い込んでいた子供や、自分自身の悩みも、とらえ方で、いくらでもポジティブにもっていくことができることを、改めて気付かせていただきました。これからも意識的に子供を褒めていこうと思います。
- ・マイナスなこともプラスの言葉に変えて、子供に自信をつけさせてあげたいです。

身近なチャンスにポジティブにチャレンジ、そしてチェンジしていく姿には、輝きがあります。

さらに4つめの「C」。学び続ける人は「チャームिंग charming」ではないでしょうか。